

仕 様 書

京都市消防局警防部救急課
(担当：山本・川勝 212-6704)

件 名	消防航空機積載品（航空救助用担架）の購入について
契 約 条 件	この仕様書は、京都市消防局（以下、「当局」という。）に納入する航空救助装備品について定めたものである。 1 製品の仕様について 別紙参照 2 履行期限 令和9年3月19日（金） 3 履行場所 京都市消防局警防部救急課 京都市中京区押小路通河原町西入榎木町450番地の2 4 その他 (1) 納入後、製造元メーカーが定める保証期間以内に、当該物件に破損、変質、性能の低下その他の事故が生じたときは、納入業者が取替え、補修その他必要な措置を講じなければならない。 ただし、当局の不適切な取扱いに起因する場合を除く。 (2) この仕様書の内容に疑義が生じた場合は、当局と協議するものとする。 (3) 納入時期等については、事前に当局と調整すること。 (4) 請求書は、納品ごとの数量及び単価を明記すること。

注 本仕様について不明な点がある場合は、契約課の指示に従ってください。

航空救助用担架仕様書

この仕様書は、京都市消防局に納入する航空救助用担架について定めたものである。

1 概要

航空救助活動に使用する資器材で、要救助者を水平又は垂直に吊上げることができる救助用担架であること。

2 製品に関する仕様等

(1) 諸元等

ア 全長2,000mm(±10mm)、全幅700mm(±10mm)で本体のみの重量が約11kgであること。

イ 最大使用可能重量は250kgであること。

(2) 構造等

ア ベースプレート

(ア) 要救助者の位置を示すための基準ラインを、黄色で明示すること。

(イ) 担架の四隅に誘導ロープ接続用金具を取り付けていること。

(ウ) 下面にスケットを装着し、引きずりによる搬送が可能な構造であること。

イ ベルト類

(ア) 水平吊り用ベルト

胸部ランヤード：長さ490mmのベルトを2本装備すること。

腹部ランヤード：長さ500mmのベルトを2本装備すること。

(イ) 要救助者固定用ベルト

要救助者の身体を確実に固定するため、5本のベルトを装備すること。各ベルトの色は頭側から順に蛍光グリーン、蛍光ピンク、蛍光イエロー、赤色、青色とすること。また、ベルトのメス側出ししろは、70mm以上を確保すること。

(ウ) 足部固定用ベルト

足部を安全に固定するためのベルトを1本装備すること。ベルトの色は蛍光ピンクとすること。

(エ) 補助用Y字ベルト

肩部を固定し、姿勢を安定させるための補助用Y字ベルトを装備すること。ベルトの色は蛍光ピンクとすること。

ウ 持ち手類

(ア) 配置

運搬時の安全と容易さを考慮し、両側面に3か所ずつ、頭側及び足側にそれぞれ1か所ずつの計8か所に持ち手を設けること。

(イ) チューブ

各持ち手には、チューブ(径30mm)を装着すること。頭側及び足側の持ち手の幅は180mmで、チューブの長さは120mmであること。

エ ラッピング

(ア) ベースプレートへの装着

ベースプレートに直接装着・一体化できるラッピング（要救助者を覆い隠すためのシート状のもの）を備えること。

(イ) 基準ラインの表示

ラッピングにも、ベースプレートと同様に要救助者収容基準ラインを黄色で明示すること。

(ウ) フェイスカバー及びスペース確保用プレート

要救助者の頭部保護やプライバシー保護のため、取り外し可能なフェイスカバー及び、必要に応じてスペースを確保するためのプレートを備えること。

(エ) フェイスカバー先端

先端には、黄色テープのループを2か所設けること。

オ 頭部保護クッション

要救助者の頭部を保護するためのクッションを装備すること。クッションは、頭部及び頸部の過度な動きを制限し、外傷の悪化を防ぐための、十分な強度と支持力を持つ構造とすること。

カ 収納ケース

(ア) 機能

上記航空救助用担架本体をコンパクトに収納できるケースとすること。

(イ) 形状・構造

ケースは、黒色のリュック型とすること。ファスナーにより容易に開閉できる構造とすること。ファスナー及び、ケースの側面に配置され、収納物の容量調整や固定に用いられるベルト（「横ベルト」という。以下同じ。）の先端には、操作性を高めるための引手を設けること。

(ウ) 刺繍

ケース本体の横ベルト上側付近に「京都市消防局」の文字を、ゴシック体、ゴールド色の刺繍糸にて明瞭に表示すること。

3 色及び数量

(1) 本体色：黒色×オレンジ色

(2) 数量：1基

4 例示

エアボーンシステムス社製ラッピングストレッチャー